



証券コード: 9268

2027年3月期 第1四半期 決算ハイライト

2026年8月7日

Agenda

- ① 決算ハイライト
- ② 四半期業績 | サマリー
- ③ 参考 | 外部環境予報
- ④ 中期経営方針
- ⑤ 基本情報

① 決算ハイライト

26年4-6月期実績

- 連結売上高は前年同期比+54.3%の1,066億円、営業利益は同+78.3%の35億円と伸長した。通期計画に対する進捗率は売上高=28.1%、営業利益=29.6%であり、目安の25%を上回って推移した。
- 日貿の輸出台数の増加が業績牽引役である。NZ向けは前年同期比+35.5%の11,513台、欧州その他向けは同2.8倍の8,784台と好調だった。需要急進で未船積在庫となっていた中古車を順次船積みし、収益化できた。連れて物流・検査など関連事業の収益も改善した。円安も見栄えする業績に寄与した。
- AUは引き続き市況が芳しくないが、過去M&A先企業の通四半期寄与や円安効果等も相まって、AU2社の単純合算売上高は前年同期比+38.8%の738億円と堅調に推移した。
- ただし、AU/NZ共にインフレ再燃から再度利上げ局面を迎えており、市況見通しは楽観視していない。

全社業績（IFRS基準）

売上高	売上総利益	営業利益	税引前利益
(26/4-6)	(26/4-6)	(26/4-6)	(26/4-6)
106,641百万円	15,426百万円	3,528百万円	1,369百万円
YoY +54.3%	YoY +50.4%	YoY +78.3%	YoY +89.5%

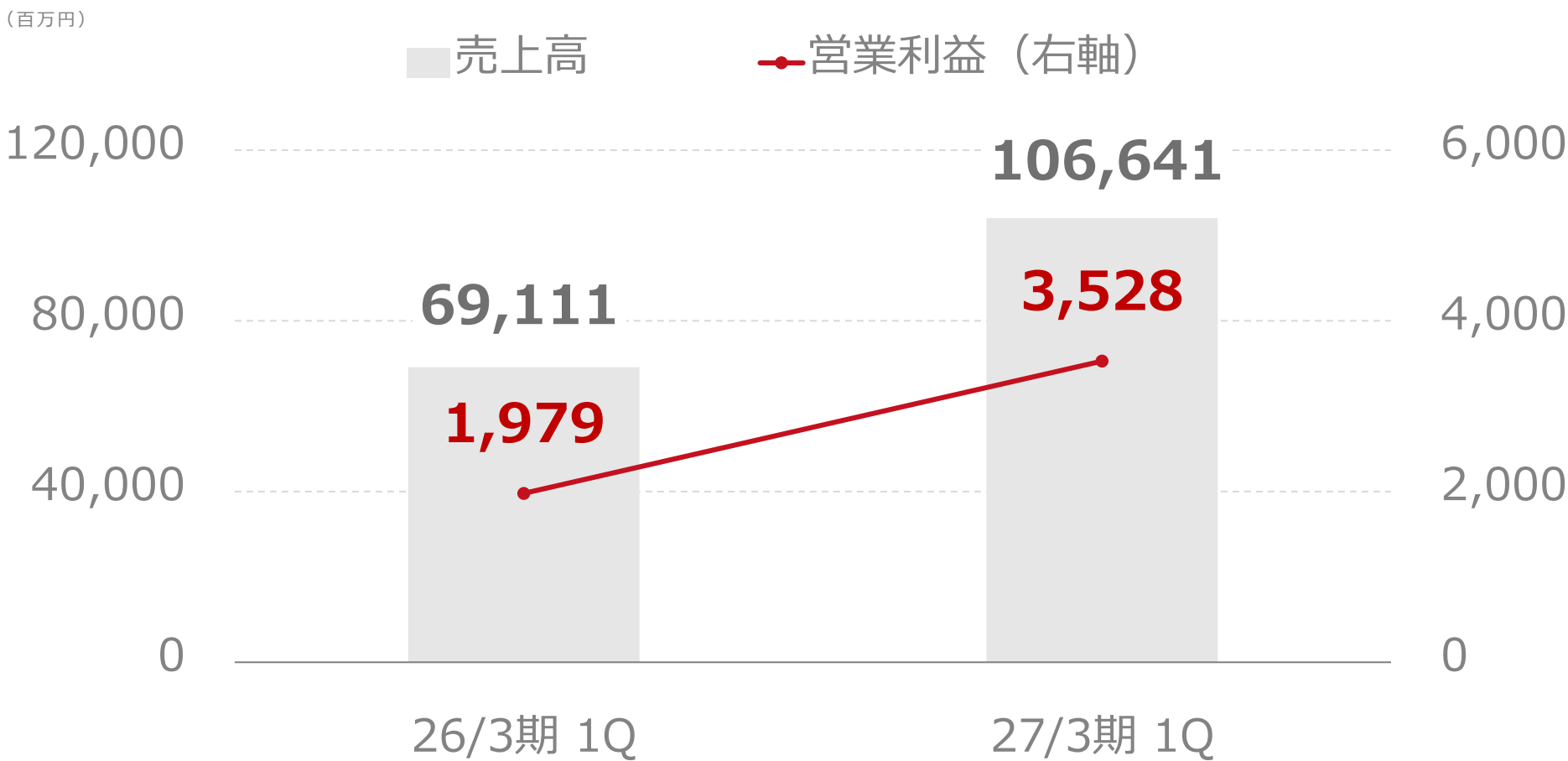
オーストラリアKPI

AU 販売台数	AU 輸送台数
(26/4-6)	(26/4-6)
10,703台	160,581台
YoY +20.6%	YoY △15.4%

ニュージーランド・欧州その他KPI

NZ 輸出台数	欧州他 輸出台数
(26/4-6)	(26/4-6)
11,513台	8,784台
YoY +35.5%	YoY +185.2%

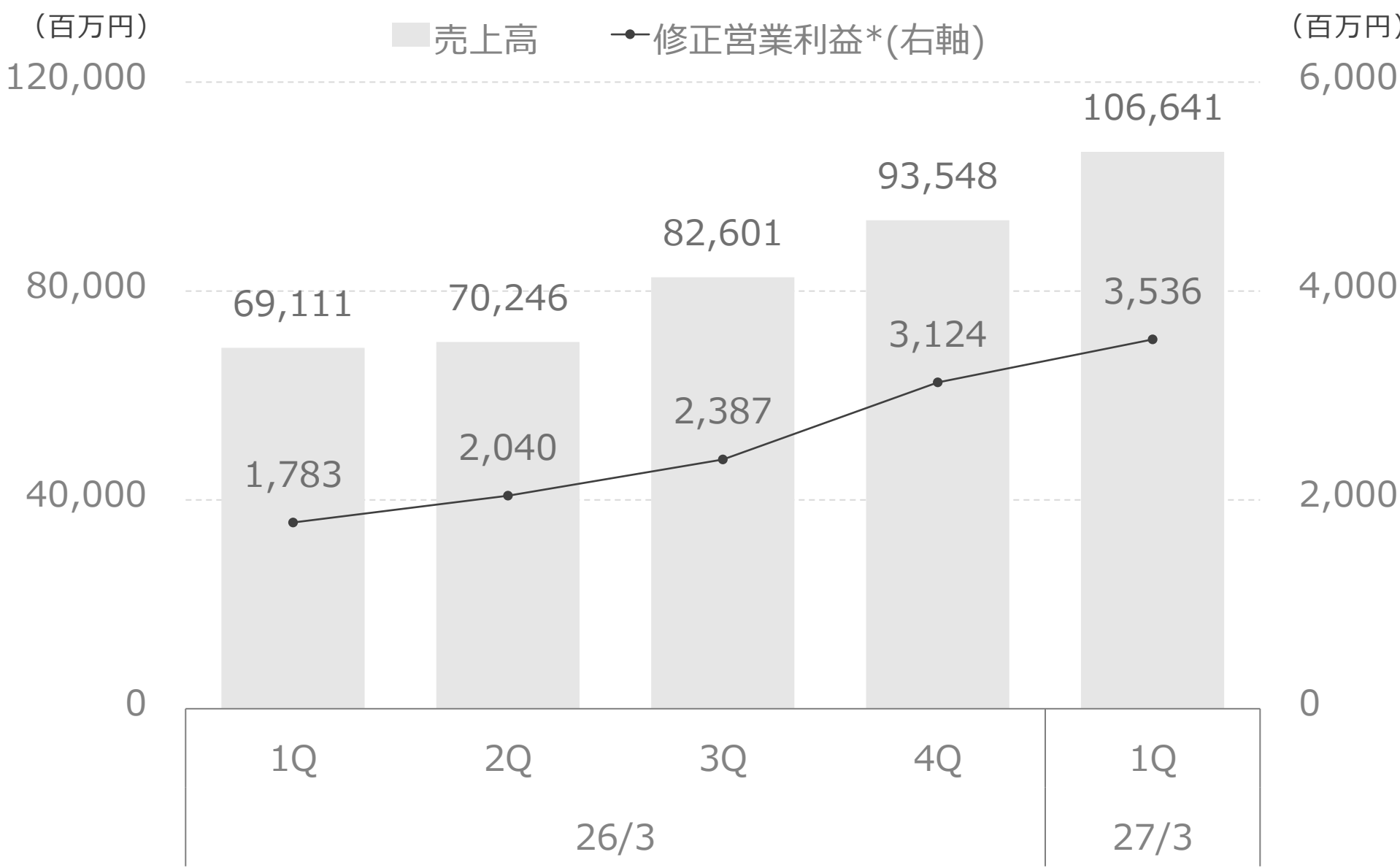
○ 四半期 売上高と営業利益



② 四半期業績 | サマリー

26年4-6月期は、売上高がYoY+54.3%、売上総利益が同+50.4%、修正営業利益が同+98.3%と、業績拡大した。
NZ向け輸出の回復および船積みの進展、欧州他の輸出・検査等が全社業績を牽引した。

項目 (百万円,台)	26/3期				27/3期	増減	
	4-6*	7-9	10-12	1-3	4-6	YoY,%	QoQ,%
売上高	69,111	70,246	82,601	93,548	106,641	+ 54.3	+ 14.0
└ AU2社 単純合算	53,189	54,158	63,375	66,912	73,805	+ 38.8	+ 10.3
AU販売台数 (Autopact)	8,874	8,518	9,656	10,515	10,703	+ 20.6	+ 1.8
AU輸送台数 (Autocare)	189,751	183,115	159,466	135,954	160,581	△15.4	+ 18.1
└ NZその他売上高	15,921	16,088	19,226	26,635	32,835	+ 106.2	+ 23.3
NZ輸出台数	8,497	6,475	7,586	9,585	11,513	+ 35.5	+ 20.1
欧州他輸出台数	3,080	3,997	4,843	5,548	8,784	+ 185.2	+ 58.3
売上総利益*	10,255	11,435	12,663	14,025	15,426	+ 50.4	+ 10.0
(売上総利益率)	14.8	16.3	15.3	15.0	14.5	-	-
のれん償却費	566	578	604	-	-	-	-
営業利益 (日本基準)	1,216	1,461	1,783	-	-	-	-
営業利益 (IFRS)	1,979	-	-	-	3,528	+ 78.3	-
修正営業利益*	1,783	2,040	2,387	3,124	3,536	+ 98.3	+ 13.2
税引前利益 (日本基準)	278	145	649	-	-	-	-
税引前利益 (IFRS)	722	-	-	-	1,369	+ 89.5	-



*各四半期のJ-GAAPおよびIFRS売上総利益からのれん償却費以外の販管費を引算した値を修正営業利益と定義し併記。

③ 参考 | 外部環境予報

(2026/8/7更新)

不安定な中東情勢を背景としたコストプッシュインフレ→再利上げを受け**AU/NZの見通しを引き下げた。**
一方、欧州中心に**中古車輸出は順調**である。また、欧州向けは相対高単価で**ミックス改善**も期待できる。

先4四半期の外部環境予報

前回見通し	26/7-9	10-12	27/1-3	4-6
オーストラリア				-
ニュージーランド				-
収益性				-



今回見通し	26/7-9	10-12	27/1-3	4-6
オーストラリア				
ニュージーランド				
欧州他 (項目新設)				
収益性				

④ 中期経営方針

(2025/5/15開示内容から変更なし)

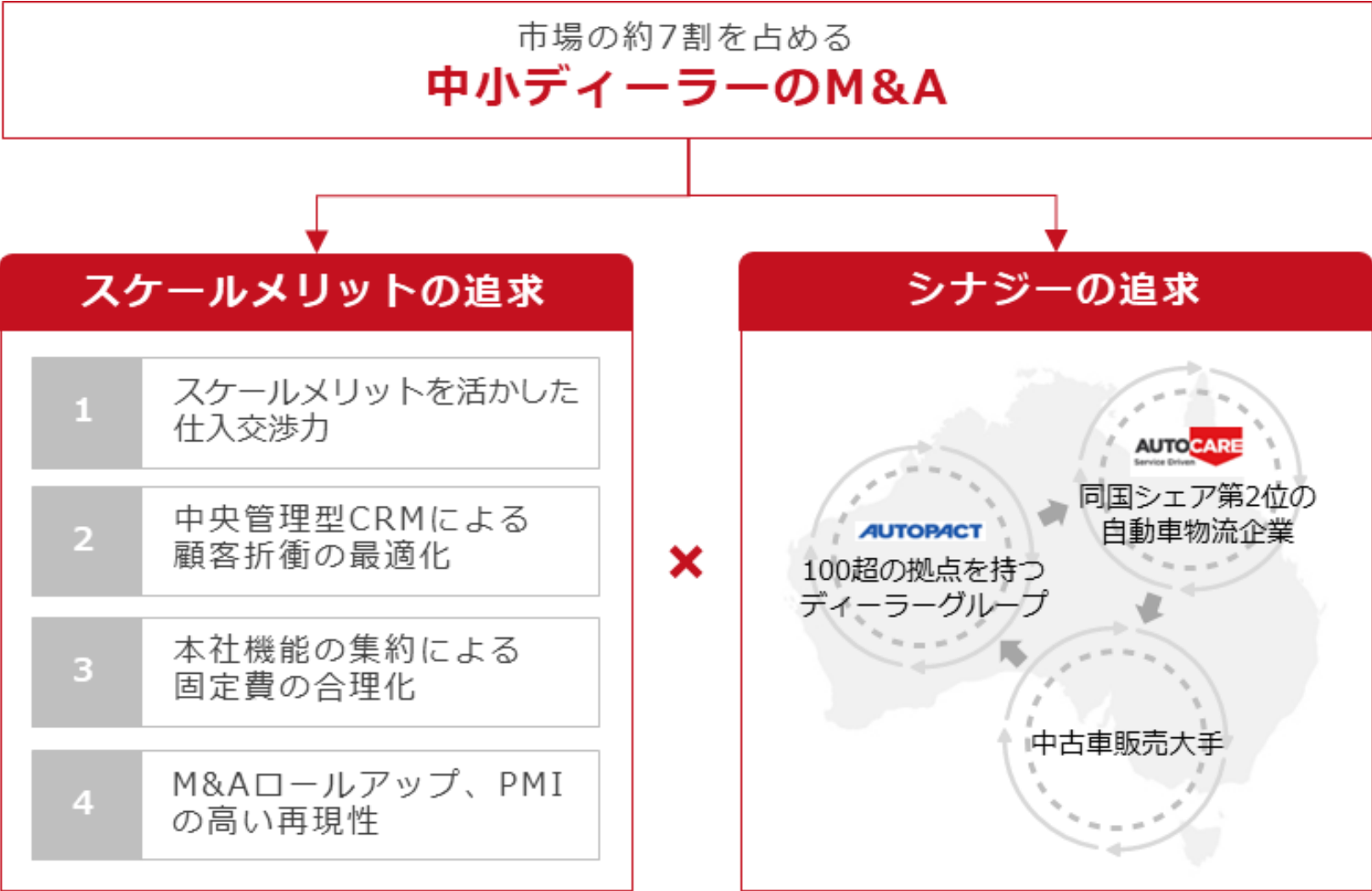
- 利益の絶対額と資本効率の**頑健的な水準切り上げ**が最重要KGI、26/3期から3年を目途に実現を目指す。
- マクロ環境に依らず一定の収益性を確保できる企業体に変化するための、①**収益力の強靱化**と、②**非連続成長の追求**が戦略骨子。

営業利益	(IFRS基準)	親会社株主利益	(IFRS基準)
15,000 +	百万円	6,000+	百万円
ROE		DOE	
15.0 +	%	4.5	% 目安

収益力の強靱化

項目	オーストラリア	ニュージーランド他
事業ポートフォリオ	・ 収益機会の多角化 ・ 中古車販売大手の中古車取扱ノウハウを活かした、Autopactの中古車販売・下取再販の拡大 ・ 保険/部品販売/点検/整備/修理など付帯サービスの収益拡大 ・ 顧客ポートフォリオの拡大 ・ Autocare × Autopactの顧客クロスセル ・ 中国メーカーを始めとした、市場ニーズを踏まえた新規取扱開始・アロケーション変更	・ ポートフォリオ分散によるリスク低減 ・ UKなどNZ以外の輸出拡大 ・ NZでのCtoC取引仲介の拡大 ・ キャッシュポイントの複層化 ・ 日本での中古車仕入～海上輸送～サービス/2次流通までの一気通貫したバリューチェーンモデルの更なる深化 ・ IT/データ活用による顧客管理の強化を通じたBtoC／CtoB／CtoC領域の拡張
コスト構造	・ スケールメリットを活かしたコスト最適化 ・ 重複部門の段階的な集約 ・ Autocare(新車物流)の帰り便を活用した中古車輸送コストの合理化 ・ 最適資金調達のための管理機能の高度化 ・ Autopactの在庫投資適正化とフロアプラン借入に係る支払利息の削減 ・ 借入条件やヘッジ手段の適正化	・ 既存業務の生産性改善 ・ システム/プロセス管理の高度化 ・ グループ全体最適の促進 ・ グローバルコーポレート機能の拡充 ・ グループ会社連携強化によるコスト削減 ・ 事業ポートフォリオ評価の推進

非連続成長の追求



⑤ 基本情報

会社名	株式会社オプティマスグループ（証券コード：9268）		
設立	1988年4月（株式会社日貿・ジャパントレーディング） 2015年1月（株式会社オプティマスグループ）		
代表取締役社長	山中 信哉		
本社	東京都港区浜松町2－4－1 世界貿易センタービル南館15階		
連結子会社	55 社（国内4社、海外51社） 2026年6月30日現在		
従業員数	2,794 名（連結）	32名（単体）	2026年6月30日現在
事業内容	グループ会社の推進する自動車総合サービス（輸出入、物流、検査、サービス、小売/卸売）の経営管理及びそれに付随する業務		

ビジネスモデル



セグメント情報

輸出入

日本全国のオークション会場で中古車を仕入れ、ニュージーランドや欧州向けに輸出する。

物流

中古車を海外へ海上輸送する。また、豪州で陸送するAutocareの事業も含む。

検査

輸出入時の検査や清掃/整備を担う。害虫混入防止処理をはじめ独自技術を持つ。

サービス

主にニュージーランドでオートローンや債権回収補助、自動車関連商品販売、中古車オンライン取引サイト等を営む。

小売/卸売

オーストラリアの自動車ディーラーであるAutopactの新車/中古車販売や関連事業が主力。

○ 本資料お取り扱い上のご注意

本資料は、投資判断の参考となる情報の提供を通して、当社をご理解いただくために作成されたものであり、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に記載された将来の業績に関する記載は、当社が将来の業績を保証するものではなく、現時点において入手可能な期待・見積・予想および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を有しております。

将来の業績は、経済情勢などの当社の経営環境、事業環境の変化等により予告なく変更することがございます。

予めご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ

IR・広報ユニット

Mail:info@optimusgroup.co.jp